

令和3年5月5日  
応化会100周年担当 下村 啓

## 100周年事業の件（2021年総会説明資料）

2023年5月の早稲田応用化学会100周年にむけて以下の取り組みを行っていきます。会員各位のご理解、ご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

1. 記念式典・記念講演会
2. 記念誌発行
3. 応化会給付奨学金の次世代展開
4. 応化会次世代情報基盤の確立

### 1. 記念式典・記念講演会

期日：2023年5月20日（土）・・・いまから2年後です

式典：リーガロイヤルホテル東京

講演会：学内で実施予定

#### ・開催場所

これから決定。教員経由で確保を依頼したい。

理工キャンパスないしは本部キャンパス

※事務局長⇒庶務理事（学内）へ打診をお願いする。

#### ・講師の選任

教室の意向を確認しつつ交流委員会のデータベースを活用して選任する。

※記念式典の企画・立案・実行は交流委員会を中心にメンバーを集めて行う。

### 2. 記念誌発行

2023年秋ごろの発行

記念誌は紙媒体で作成するが、WEB上に掲載することを前提に取り進める。

※記念誌の企画および構成（執筆者、画像、記録）は広報委員会を中心にメンバーを集め行う。

### 3. 応化会給付奨学金の次世代展開

今後の応用化学会の重要な取り組みとして「博士人材の発掘と育成の支援」を掲げる。

これにより、早稲田大学先進理工学部応用化学科の発展、およびそれを支える本会会員各自の活性化をはかっていく。

- ・博士人材のすそ野を広げる活動

応用化学科から多くの博士人材を育て、世界の発展に貢献していく。

- ・先輩博士との交流機会（イベント）を作り、博士課程進学者のキャリアパスを示す。
- ・学部生時から博士課程進学を選択肢として考える機会をつくる。

⇒「先輩博士からのメッセージ」（本年8月に第1回を開催すべく準備中）

「応用化学会給付奨学金支給対象の学部生への拡大」（検討中）

を図り、多くの学生の視野を博士取得にもむけさせる。

⇒この活動を進めるため、

100周年を記して「応化会給付奨学金」の資金拡充のため募金をお願いする。

※奨学金推薦委員会および交流委員会で「交流イベント」の企画・実行を行う。

**※募金のお願いを奨学金推薦委員会と基盤委員会で開始する。**

- ・教室ルート、シニアOBルート、評議員ルート、企業別会員ルート等を確立する。

これまでの寄付の仕組みで行う。（今回は100周年を期して募金を積み増す）

#### 4. 応化会次世代情報基盤の確立

IT化進むこれからの時代に対応すべく、応用化学会の「各種運営」や「情報の公開」を行う「情報基盤」確立する。

- ・「必要な情報を必要な人が容易に入手できるようにする」
- ・「応化会業務を情報基盤上で行う」

情報基盤への入口としての「応化会HP」整備

⇒発信情報（会報、イベント情報、業務連絡）

⇒運営業務のIT化（名簿管理、記録・データ管理、議事録管理、会費管理）

⇒イベントや各会議のWEB開催

**※各委員会から選出した次世代情報基盤WGで概要をまとめ、**

若手を中心とした検討チームで取り進める。

以上